

ひかりのその

社会福祉法人雲柱社
光の園保育学校
2026 年度 11 月号

愛は、すべてを完成させるきずなです
～コロサイの信徒への手紙 3 章 14 節～

秋も深まり、木々の葉が色づく季節となりました。

先日はファミリーデー（3.4.5 歳クラス）にご参加いただき、ありがとうございました。当日は、有志の皆さまが舞台に上がって一緒に体操をしてくださったり、周りから盛り上げてくださったりと、温かいご協力をいただきました。今回、保護者の方にも舞台に上がって体操に参加していただくことは光の園にとっては初の試みでした。“どうしたらもっと親子で一緒に楽しめるだろう？”と、行事担当の職員を中心に話し合いを重ね、ポスターで体操仲間を募るなど、私たちにも色々な挑戦がありました。さらに、ファミリーデーの体操は毎年違います。体操を早い時期に決め、日々の保育の中で繰り返し楽しみながら、子どもたちは少しずつ当日を迎える準備をしていきます。今回は、そんな楽しみを子どもたちだけでなく、ご家族とも分かち合えたらという思いがあり企画しました。

そして、ファミリーデーは当日だけのものではありません。終わったあとも楽しみは続きます。乳児クラスでも同じ体操を楽しんだり、幼児さんの姿を 2 階テラスなどから見て、幼児さんを応援したり真似したりして楽しさが園の中に広がっていきます。その楽しさは乳児クラスだけでなく分園の子どもたちの日々の生活にもつながっています。まだ小さな子どもたちも、身近な大人や友だちの姿を見たり、音楽に合わせて体を動かしたりしながら、それぞれのペースで楽しんでいます。行事当日の姿だけでなく、そこに至るまでの毎日の小さな経験も大切にしながら、これからも園全体で子どもたちの育ちを見守っていきたいと思います。

斉当　知江

＜ 11 月の予定 ＞

3日（祝・火）	記念館大バザー
5日（木）	避難訓練
9日（月）	収穫感謝礼拝
12日（木）	誕生会
20日（金）	ばら組遠足
24日（火）	アドベント礼拝①
30日（月）	アドベント礼拝②

＜区立保育園で年末保育を実施します＞
期間：　12月29日(火)、30日(水)
申込書類は QR コードからになります。「年末保育募集のお知らせ」は事務所にてお配りしております。

10月7日の一斉引き渡し訓練のご参加ありがとうございました。子どもの命を守る為の訓練ですので、来年度以降もご協力よろしくお願いします。



つぼみ組
（0歳児）

秋の公園へ

裏の公園以外にも、両国公園、緑町公園、安田庭園、横網町公園などへ散歩に行っています。金木犀の香りを嗅いだり、トンボが飛んでいるのを見つけたりしながら、以前よりも長い時間子どもたちは元気に出かけています。公園では、もうシートなんていらなくなり、自分で好きな場所へとハイハイしたりつかまり立ちしてあそんでいます。遊具でも保育者が見守る中「自分で行けるのよ！」と言わんばかりに自力で上り下りを楽しんでいます。歩くことが楽しい子どもは広範囲を歩き、葉っぱや石をみつけたり、ボール遊びをしています。どの子どもたちも、友だちと一緒ということを喜び、笑い合ったり同じあそびをしてみたりしています。友だちや保育者といる安心感の中、自分から外の世界へと大胆に行ける子どもたちに成長を感じています。これからも色々な場所へたくさん散歩に出かけて季節を感じるものを一緒に発見したり、感じとったりする経験ができ、好きなだけ体を動かせるといいなと思っています。



もも組
（1歳児）

暑さも落ち着き、穏やかな日差しの中で戸外遊びを楽しめる季節になってきました。ある日のお散歩で「あっ！みてみて！」と道の端を指さすAさん。そこにはたくさんのねこじゃらしが生えていました。もも組では『ノンタン　こちょこちょこちょ』という絵本が大人気で、「ノンタンこちょこちょねこじゃらし。ぶたさんこちょこちょぶたじゃらし…」と毎日繰り返し楽しんでいたので「ねこじゃらし、ノンタンの絵本と一緒だね～」と会話をしながら、少しだけお土産に持ち帰ってきました。お部屋に飾って眺めるだけでなく、お友だちや保育者とくすぐり合いっこをしたり、絵本を開いてノンタンをくすぐってみたり（この発想がとてもかわいいな～と思いました）と、楽しんでいました。
別の日には、地面にたくさんの落ち葉を発見。始めは拾ったりちぎって楽しんでいたのですが、風が吹くと落ち葉がくるくる回ったり、自分たちの方へと近付いてきたりして、「きゃ～！」と大興奮。すぐに「まてまて～！」「はっぱ、追いかけてるんだ～！」と走り出し、みんなで落ち葉との追いかけっこを楽しんでいました。秋の自然にたくさん触れながら、身体を動かしてあそぶ楽しさを感じているもも組の子どもたちです。



さくら組
（１歳児）



「大喜利選手権？」



ゲートボール場に向かう途中の親水公園にはカモが沢山います。カモに会えない日もありますが、カモゾーンが近くなると「カモ、いる？」と探します。
そこでＡさんは「カモ、いるカモ～？」と渾身のダジャレを披露。保育者が「カモだから？！」と聞くと「カモね～」と笑顔で答えていました。

他には、「カモ、おいしそう～！？」と呟くＢさんや、カモよりも地域の方が持っていた食パンが気になり「パン、おいしそう～ちょうだいな！」とパンに手を伸ばしながら話すＣさんなど、散歩中も大喜利のような色んな呟きであふれています。

子どもたちの思ったことや考えたことを大切に受け止めながら、時には言葉あそびも楽しみつつ保育者も子どもたちとコミュニケーションをとっていきたいと思います。



２歳児クラス
（たんぽぽ・すみれ組）



♡さんぽバッグは素敵な『た・か・ら・ば・こ』♡



親水公園にマイさんぽバッグを持って、みんなでドングリや落ち葉などを拾いに散歩に出かけました。今年はふとっちょから細いものまでいろんな種類のドングリが落ちていて、子どもたちも地面を見て「みて～！こんなに　いっぱいだ～！」と大喜びで拾い始めました。夢中になって拾い、自分のバッグに入れていると「みて！　こ～んなに　パンパンになっちゃった！」といっぱいになったバッグを両手で持ち上げて嬉しそうにしている姿にみんなも笑顔になりました。ドングリの他にも落ち葉や石を手にとってじっくりと眺め選んで入れている様子もあり、まるで大切なものを『宝箱』にしまうかのようでした。ちょっぴり重たくなったバッグを肩にかけて歩く帰り道。子どもたちからは「あとで　ママとパパに　どうぞってするんだ！」「ふくろにいれてもってかえろうね。」などと会話が弾み足取りも軽やかでした。
子どもたちの飽くなき探求心を大切に、これからも心が動く瞬間を一緒に楽しんでいきたいと思います！



ちゅうりっぷ組
（３歳児）

はじめての絵画

クレヨンを購入し、家庭にて名前を書いてきてもらうことを子どもたちに話した時に、「先生。絵画ってなあに？」とＹさんからの質問がありました。「クレヨンやえのぐを使ってお絵描きするんだよ」と伝えるとそれを聞いたＨさんが「なにを描くの？」とさらに質問。「Ｈさんの描きたいものでいいんだよ」と伝えるとその日から何を描こうかお友だちとのお喋りに花が咲いていました🌸。Ｒさんと Ｓ さんは少し描いた後は「もうおしまい」と終了していましたが、そんな２人はリトミックや体操の時は「もっとやりたい」と言っています。絵が好きだったり運動が好きだったりと子どもたちがそれぞれ【自分の好きなこと】を見つけながら毎日あそぶことができるように今月も【好き】が見つかるようなあそびをたくさん取り入れて行きたいです！ちなみに担任は、絵が好き、歌うことが好きな２人です☆



☆宝箱☆

前髪を切ったＳさん。保育室の鏡をしばらく見つめ「みてみて～。なんかかわっているの！」とお友だちと先生にお披露目してくれました。



☆事務所からも・・・「宝箱」☆

散歩出発前のすみれの子どもたち。「きょうね、トーホーこうえんにいくの」と教えてくれました。何度聞き返しても「トーホーこーえん！」と何人もが言います。「あたらしい　はじめてのこうえんなの！」と誇らしささえ感じる表情で伝えてくれます。（だけどそんな公園あったかな…？）
すると、担任が「さあ、今日は初めての公園いくよ！」と呼びかけており、続いて「遠くの公園だよ」と伝えてました。それを聞いたすみれさんは私の方に振り返り「ほら！トーホーこうえんでしょ！」
なーるほど！いってらっしゃい笑

ちなみに担任は「遠くの公園だよ」のあとすぐにちゃんと「法恩寺橋公園っていう公園だよ」と公園名も伝えていました。でもインプットされたのはトーホー公園！

※ちなみに数日後には「法恩寺橋公園いくの」と言えるようになっていました☺　　事務所より

ばら組
（４歳児）



ペアと迎えたファミリーデー

ゆり組とばら組でそれぞれペアをつくり、さまざまな活動を一緒に楽しんできました。

初めは、少し恥ずかしそうにゆり組さんに迎えに来てもらっていたばら組さんも、回数を重ねるごとに、ペアが来てくれるのを嬉しそうに待つようになりました。また、「ゆり組さんと一緒に散歩に行きたい！」と誘い、ペアで手をつないで散歩に出かけることもあり、少しずつ関係が深まっていきました。部屋と部屋の間の扉が開いていると、「あ、ペアの〇〇ちゃんいた♡」と、見つけただけで心がウキウキするほど、ペアの存在が身近で嬉しいものになっていました。

そして迎えたファミリーデー。お家の人と離れて並ぶことに、不安な気持ちもあったことと思います。そんな中、「〇〇ちゃんが手をつないでくれたんだ」と話してくれました。楽しみな気持ちの中にある緊張や不安も、ペアの存在があったからこそ、乗り越えることができたのだと感じました。同じクラスの友だちとはまた違う、大切な存在。それがペアなのだと思います。

ゆり組さんが卒園するまで、あと５か月。これからもゆり組さんとたくさん遊び、楽しい思い出をいっぱいつくっていきたいです☆

ゆり組
（５歳児）

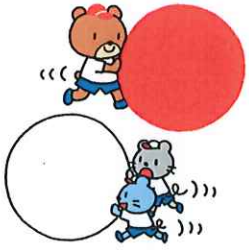
みんなのソーラン節

先日、保護者の皆様の温かい声援とご協力のもと、保育園生活最後のファミリーデーを無事に終えることができました。昨年ゆり組に繋いでもらっていたみんなの手が、今年はばら組の友だちの手を力強く握り、共にパラバルーンを踊り切っていた姿に頼もしさを感じました。

何よりソーラン節では、子どもたち一人ひとりが力を発揮し踊っていました！自分の名前を呼ばれ、「はい！」と大きな声で返事をし、自分のポジションに向かっていく子どもたちの姿に胸が熱くなりました。練習の中で、「どんなふうに踊ったらかっこう良くなるのか」「手に力を入れて踊ってみる？」「入れ替わるところがわからない」など皆で相談し、自分たちのソーラン節を作り上げたゆり組。また、「緊張する」「やりたくない」という葛藤を抱えている姿も見られましたが、お家の方や友だちに気持ちを受け止められ、「失敗してもいいんだよ。一緒にやってみようよ。」という言葉に力をもらい、一人ひとりが自分のソーラン節を踊ることができました！

ファミリーデーの後にも、「ドキドキしたけど踊れた！」「今までで一番踊れた！」という言葉が子どもたちからも聞こえてきました。また、当日だけではなく日々の練習をしていく中で、みんなの喜びが自分の喜びとなり、一人ひとりの自信にも繋がったように感じます。残りの保育園生活、一日一日を大切にしながら、さらに絆を深めていきたいと思っております。





ほけん

窓を開けよう

閉め切ったお部屋の中には、ウイルス、化学物質、埃、二酸化炭素などが溜まってきます。エアコンを使っていれば換気ができているように思いがちですが、エアコンには外から酸素を取り込み、有害物質を外へ排出する機能はないそうです。また観葉植物だけでは部屋内の二酸化炭素の濃度を十分に下げることはできないそうです。

寒いから、暑いから、花粉が飛んでいるからと窓を開けたくない日は１年をとおしてありますが、換気は季節を問わず必要とされています。

感染症対策としては、３０分に１回以上、数分間窓を開けることが推奨されています。できれば２か所の窓を開けて風が通るようにするとよいそうです。



おしょくじ

11月24日は「和食の日」





～和食を見直してみませんか？～

11月24日は「いい（11）日本食（24）」の語呂合わせから＊＊「和食の日」＊＊とされています。美味しさだけでなく、たくさんの良い所があります。そんな和食の魅力をご紹介します。

① 栄養バランスが取りやすい
ご飯を中心に魚や肉、野菜等を組み合わす事で様々な栄養をとることが出来ます。

②旬の食材を楽しめる
季節の野菜や魚を取り入れる事で四季の変化を感じる事が出来ます。

③素材の味を大切にしている
出汁の旨味を生かす事で食材本来の美味しさを楽しめます。

和食の良さを見直し、毎日の食事に取り入れながら、日本の食文化を大切にしていきましょう

＜署名とカンパのご協力ありがとうございました＞

『子どものよりよい育ちと子育て支援の充実。保育園や認定こども園の保育をよりよくするための要望』

署名　８１筆　　カンパ　１７,０２０　円

１０月１日付で送付、振込させていただきました。

署名は全国私立保育連盟を通して、内閣総理大臣あてに送られます。

2026年１２月２５日にこども性暴力防止法が施行されます。光の園保育学校では、今年度も安全・安心な保育、保育の質の向上のために研修に取り組んでいます。



今月のやまびこの投書はありませんでした



おひさまぶんこ

―くいしんぼうの秋によせて―



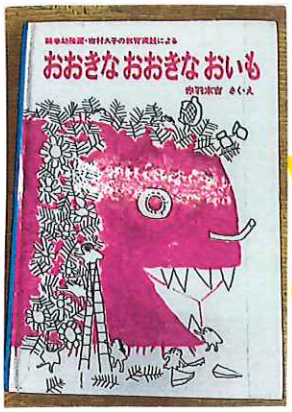
「柿でございます！砂糖ではなく熟した柿です。」



甘い柿を食べるといつもこのセリフを思い出します
2003年の韓国ドラマ「宮廷女官チャングムの誓い」の一場面です。
料理に使われた食材を問われた女官たちが誰も当てることができなかった
〝熟れた柿〟のかくし味にただ一人気がついた
幼き主人公チャングムの名場面です。
食の表現の豊かなTVドラマは、観ているだけで味への想像が広がります。
自分の知っている味覚に物語の中の未知の味覚が重なり、
好奇心が膨らみます。
TVドラマと同じように私たちの味覚の想像力を掻き立ててくれるのが
絵本の世界かもしれません。
今日も乳児のあるクラスでは、絵本のおいしそうなページを開いては
おともだちや保育者たちにもつまんでは口に入れて分け合い、
決して減ることのないごちそうをじっくり味わう姿がありました。
（この人間の食への貪欲さ、食への探究心こそが
ヒトを進化、発展させたと、どこかの本にも書いてありました）
季節は食欲の秋
くいしんぼうたちにおすすめのヨダレあふれる絵本を紹介します。（たるもと）



「おいしいおと」
三宮麻由子．文
ふくしまあきえ．絵
福音館書店
美しい咀嚼音の表現に
食べものの香りさえ
ただよってきます。



「おおきなおおきなおいも」
市村久子．原案
赤羽末吉．作・絵
福音館書店
おいも色一色で描かれた
いも愛あふれる一冊
読むと早速いもを
ふかしたくなります



「11ぴきのねこあほうどり」
馬場のぼる．作・絵
こぐま社
たくさんコロッケを
食べたいあほうどりと
大きなとりの丸焼きが
食べたい
くいしんぼう対決や
いかに!!



「バムとケロのおかいもの」
島田ゆか．作・絵
ぶんけい堂
ケロちゃんのホットケーキや
市場に並ぶ
おいしそうなごちそう
読むとおなかがへります



11月

0歳児　つぼみ組

・秋の自然の中であそび色々な物に関心、興味をもって過ごす。

1歳児　もも組・さくら組

・秋の自然を見たり触れてあそぶ。

2歳児　たんぽぽ組・すみれ組

・秋の自然に触れながら身体を十分に動かして楽しむ。

3歳児　ちゅうりっぷ組

・自然や身近な素材を知り、楽しむ。

・友だちと関わりながら、ごっこあそびを楽しむ。

4歳児　ばら組

・身近な社会や仕事に興味を持ち、関心を深める。

・友だちと協力したり助け合ったりして表現することを味わう。

5歳児　ゆり組

・共通の目的に向かって友だちと協力、工夫しながらあそびを楽しむ。

・身近な社会、季節の変化に関心を持ち、自分たちの生活との関係に気づいていく。